

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 26 日 (2017.1.26)

【公開番号】特開 2015-217922 (P2015-217922A)

【公開日】平成 27 年 12 月 7 日 (2015.12.7)

【年通号数】公開・登録公報 2015-076

【出願番号】特願 2014-105478 (P2014-105478)

【国際特許分類】

B 6 2 D 25/16 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 25/16 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 13 日 (2016.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 1 に記載する本発明の車両側部構造は、フロントサイドドア開口部の前縁部を形成するフロントピラーと、前記フロントピラーよりも車両幅方向外側に配置され、車両前部の側面を構成する外側壁部を備え、前記外側壁部にホイールアーチ部が形成されたフェンダパネルと、前記フロントピラーと前記フェンダパネルとの間に介在され、前記フロントピラーに当接する第一当接部を備えると共に、前記ホイールアーチ部の後部に当接する第二当接部を備えるフェンダサイドプロテクタと、を有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記構成によれば、フェンダパネルは、車両前部の側面を構成する外側壁部を備えており、この外側壁部にホイールアーチ部が形成されている。そして、フロントピラーとフェンダパネルとの間にフェンダサイドプロテクタが介在され、フェンダサイドプロテクタの第一当接部がフロントピラーに当接すると共に、フェンダサイドプロテクタの第二当接部がホイールアーチ部の後部に当接する。このため、ホイールアーチ部の後部に対して車両幅方向外側から外力が加えられた場合、ホイールアーチ部の後部からフェンダサイドプロテクタを介してフロントピラーに荷重が伝達されて支持される。よって、ホイールアーチ部の後部における変形が抑えられる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

1 0 A 車両側部

1 0 B 車両前部

1 2 フロントピラー

- 2 0 B ピラーアウト部の前壁部（フロントピラーの前壁部）
2 0 C ピラーアウト部の外側壁部（フロントピラーの車両幅方向外側の側壁部

）

- 2 2 フロントサイドドア開口部
3 0 フェンダパネル
3 2 フェンダパネルの外側壁部
3 2 A ホイールアーチ部
3 2 R ホイールアーチ部の後部
4 0 フェンダサイドプロテクタ
4 2 第一当接部
4 2 A 第一面
4 2 B 第二面
4 4 第二当接部

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フロントサイドドア開口部の前縁部を形成するフロントピラーと、
前記フロントピラーよりも車両幅方向外側に配置され、車両前部の側面を構成する外側壁部を備え、前記外側壁部にホイールアーチ部が形成されたフェンダパネルと、
前記フロントピラーと前記フェンダパネルとの間に介在され、前記フロントピラーに当接する第一当接部を備えると共に、前記ホイールアーチ部の後部に当接する第二当接部を備えるフェンダサイドプロテクタと、
を有する車両側部構造。

【請求項 2】

前記ホイールアーチ部の後部に対して車両幅方向内側斜め後方側に前記フロントピラーの前壁部が配置されており、

前記第一当接部は、車両幅方向内側に向けられて前記フロントピラーの車両幅方向外側の側壁部に当接する第一面と、車両後方側に向けられて前記フロントピラーの前壁部に当接する第二面と、を備える、請求項 1 記載の車両側部構造。

【請求項 3】

前記フェンダサイドプロテクタは、発泡材で形成されると共に前記フロントピラーと前記ホイールアーチ部の後部との間に圧入されている、請求項 1 又は請求項 2 に記載の車両側部構造。